

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

日時 5月8日(木) 14:00~15:00

場所 水沢高校 大会議室

1 開会

2 校長挨拶

本協議会は、以前は学校評議員会という制度であった。5人の学校評議員で構成され校長の求めに応じて、個人として意見を述べるということを任務としていた。

一方、学校運営協議会は15名以内になり、学校への基本的な方針についてあるいは学校が抱える教育上の諸課題について協議いただき、学校を応援する存在として運営改善に資することになる。

本校は学校運営協議会に移行して4年目となる。一昨年度、広い職種の方、お立場の方から、様々なご意見をいただくということで、委員の構成メンバーを見直した。

本日は学校経営計画とスクールポリシーについてご承認いただくほか、水高の現在の状況を知ってもらいましてご意見等を頂戴したい。

3 自己紹介

4 学校概況説明

(1) 大学進学状況【進路指導主事】

国立大学90名、公立大学44名で延べ134名の合格である。私立に関しては資料のとおり。

国公立大学と私立大学の併願を考慮して進学する生徒は減少している。第一志望の進学にこだわる傾向がある。東北大学は関東から受験者が増えている。生徒が納得した進路指導となるようにしたい。

(2) 部活動の結果【生徒指導主事】

部活動の結果については資料の通り。

(3) DXハイスクール【副校長】

正式名称を令和7年度高等学校DX加速化推進事業と言う。全国で1191校を今年度採択校として決定した。県内では18校が継続採択されており、継続校には500万円の予算がついている。文科省によると、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校に対し、必要な環境整備の経費を支出するものとなっている。本校は理数科設置校でもあり、この予算を活用して理科実験器具等を揃え、資料にあるような出前授業等を実施して人材の育成を今後も継続して取り組むことになる。

【委員】

室蘭工大の進学者が6名と増えているが何か理由があるのか。

【副校長】

本人の意志で選んでいる。結果的にそのようになった。

【校長】

今年の卒業生は2クラスが文系で残りが理数科と理系クラスであり、理系の人数が多かったこともあり、全国の大学に進学している。

【委員】

山岳部のクライミングユースアジア選手権は日本で行われたのか。また、経費負担はどうかしているのか。

【生徒指導主事】

国内大会を勝ち、中国の国際大会に参加した。費用は学校より一部補助している。

【委員】

大学合格者について。旧帝大や東大北にチャレンジはしているのか。

【副校長】

東大や北海道大学にチャレンジする生徒はいない。東北大については、毎年チャレンジはして何名か合格しているが合格は厳しくなってきている。

【校長】

東京大学は最近では敬遠しがちである。学力的には結構高い生徒もいるが、東北大で勉強したいという生徒が多い。

【委員】

トップの大学に行って、国の中核で頑張っていたくこともあるが、地元に戻って地元を活性化する人材を輩出していただきたい。

5 協議（進行は東会長）

（1）学校経営計画・スクールポリシーについて【校長】

令和7年度の学校経営計画となる。承認いただければ県に提出することになる。

教育目標は資料のとおり。生徒会モットーの友愛、清新、気魄について様々な場面で話している。

スクールポリシーについては、令和6年度から変更していない。

目指す学校像について、一つ項目が増えた。規範意識を新規に加えた。規範意識を持って集団や社会において望ましい行動を積極的に行うことができるように学んで育ってほしいということで目標に加えた。

達成指標の目標値は全部80%とした。去年の状況を見ると全部80%超えているが、さらに高く目標値を設定し、それを超えるようにしようということではない。一定の水準をキープすることとしている。

達成項目が増えてきているが、生徒会モットーのようにもっとシンプルにしていきたい。

(2) 働き方改革について【副校長】

ICT 機器の活用等に継続して取り組んでいるが、先生方の意識も変わってきており、例えば休日に部活動を行った場合の振替を取る先生も増えてきた。今年度は三連休を意図的に設定し、先生方も生徒も三連休の際には必ず一日は休むようにしている。勤務時間外の労働時間を減らすように努めつつ学校の教育の質を落とさないようにしたい。

【委員】

働き方改革について、時間外在校時間が月 80 時間以上の教員が 1 名いる。このことについて説明してほしい。

【副校長】

運動部の顧問 1 名が 5 月に 80 時間を超える結果となった。朝早くから放課後遅くまで勤めたこともあり超過となった。教員には限られた時間の中で勤務するという意識を持ってもらいたい。

【事務長】

実は一昨年は 9 名であった。年々改善してきている。

【委員】

市役所での勤務時間外の勤務がなかなか減らない。1 名まで減ったということは本当に改革が進んだと思う。水高の探究活動など一般社団法人岩手圏と協力し合いながら、支援できればと考えている。

【委員】

働き方改革は中学校も行ってる。学校運営協議会の協議項目の入れるのは良いことだと思った。ぜひ参考にしたい。

【委員】

学校経営計画の新規の項目は良いと思う。

魅力化協働パートナーにスクールカウンセラーが入っていることに感謝。ぜひ先生方と連携してください。

【委員】

セクハラやハラスメントについて説明願いたい。

【校長】

県では岩手モデルというのを作成している。これに関しては必ず教員研修会を開くことになっている。他に毎月、職員会議の時にコンプライアンスのチェックシートを配付し、全員でチェックしている。

【委員】

この学校経営計画はPTAの方にも共有されているのか。

【校長】

ホームページに載せている。

6 その他

【副校長】

第2回、第3回の日程を御確認ください。

【委員】

新入生の様子はどうなっているか。

【校長】

コロナから復活したあたりに中学生だったということなのか、今の2年生、新1年生は明るく積極的な生徒が多い。

【委員】

応援団、応援歌練習はどうなっているか。あの当時の応援歌練習は、今はだめだろうが、何らかの形で、全員で取り組むという一つの象徴的な時間としては全く流してしまって良いのかという思いはある。

【校長】

応援団は現在2人しかいない。野球応援は野球部の1年生が主導して行っている。

【生徒指導主事】

応援歌練習は校歌とエールを中心に行った。

7 閉会